

# ANNUAL REPORT

認定NPO法人STORIA

2023年度

# ごあいさつ

2023年度もSTORIAをご支援くださる多くの方々の想いと共に活動を行うことができました。  
様々な形でお力添えをいただいた皆様に、心から感謝申し上げます。

STORIAは設立時から、様々な困難の中にいる親御さんと子ども達に、『ひとりじゃないよ』『生きているだけで価値がある。素晴らしい可能性をもって生まれてきている』ということ届けたいという想いで、相談支援、見守り支援、小学生と中高生世代のサードプレイス事業の活動を続けて参りました。

STORIAが始まった2016年は、困難を抱えているご家庭約20世帯をサポートする力しかありませんでしたが、2023年は約3,000世帯と出会うことができ、そのご家庭と子どもたちに”生きる”を支えるためのサポートを微力ながら行うことができました。

私たちだけでこんなに多くのご家庭と子どもたちを支えることはできません。  
ご支援くださった皆様、想いを寄せてくださった皆様お一人おひとりに、改めて心から感謝の気持ちでいっぱいです。

すべての命も営みもこの世界から与えられていると私たちは信じています。  
子どもも親御さんも一人ひとりが自分らしい人生を歩んでいくことができるように、STORIAに関わってくださる多くの方々と共に「愛情の循環」が生まれ出される未来を目指していきます。  
2024年度も、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



認定NPO法人STORIA  
代表理事 佐々木綾子

# CONTENTS

---

- 01 — COMPANY PROFILE
- 02 — 2023年度活動のご報告
- 03 — 2023年度活動の会計報告
- 04 — STORIAを支えてくださる方
- 05 — ご寄付について
- 06 — おわりに



ありのままがいい  
きみの物語は  
きみのもの

Be yourself.  
Your story belongs to you.

# COMPANY PROFILE



STORIAは、「愛情が循環する未来へ」というVISIONを掲げ、様々な困難を抱えたご家庭と子どもたちに「包摂する事業」を、地域社会に対し「社会に理解と変化が生まれる事業」を行うことで根本的な解決に取り組んできました。

私たちは、これまで解決されていない社会の課題に対し、創造的な事業を開発・実践し、かつ変容のハブ的な役割を果たす存在となることを目指し、想いを共にする方々と力を合わせて活動しています。

## VISION 愛情が循環する未来へ

### アプローチ1 子どもと保護者の包摂を

ひとり親等の  
相談事業

ひとり親等の  
就労事業

サード  
プレイス事業

緊急支援  
事業

### アプローチ2 社会に理解と変化を

企業  
他団体  
研修

協働事業

啓発事業

政策提言

#### <沿革>

2016年～：小学生のサードプレイス事業

：緊急食糧支援事業

2020年～：ひとり親等の相談支援事業

：政策提言・啓発事業

2021年～：見守り支援事業

：他団体への研修事業

：企業研修事業

2023年～：ひとり親等の就労支援事業

2024年～：中高生のサードプレイス事業

アウトリーチにより「つながる」ことを、相談や訪問支援で「見守り・支える」ことを、  
多様な連携事業で「支え続ける」ことを行政や企業他機関等と連携し、子どもと保護者を包摂する事業を行いました。

## ステップ1：つながる

仙台市と  
連携協働



町内会  
民生委員等  
と連携



他機関  
他団体等と  
連携



アウトリーチ事業

## ステップ2：見守り・支える

訪問支援



相談支援



見守り・相談支援事業

## ステップ3：支え続ける

小学生の居場所



中高生の居場所



親御さんの  
就労支援



連携事業

ステップ1：つながる

2,957  
世帯

仙台市と  
連携協働



町内会  
民生委員等  
と連携



他機関  
他団体等と  
連携



アウトリーチ事業

ステップ2：見守り・支える

1,901  
世帯

訪問支援



相談支援



見守り・相談支援事業

ステップ3：支え続ける

146  
世帯

小学生の居場所



中高生の居場所



親御さんの  
就労支援



連携事業

2023年度は、仙台市等の行政機関や連携団体・地域等とのアウトリーチにより、ひとり親等相談支援事業と見守り支援事業併せて、合計2,957のひとり親や困難家庭とつながりました。

## アウトリーチひとり親等相談支援事業

アウトリーチ合計  
**2,885世帯**

窓口登録者への情報提供  
**56,016回**

## アウトリーチ見守り支援事業

アウトリーチ合計  
**72世帯**

子どもの人数  
**164名**



仙台市  
地域の方向け

仙台市ひとり親家庭等生活向上支援事業  
ひとり親家庭のための相談窓口と情報サイト  
**POLLUX**  
ポルックス

ポルックスは、ママやパパの困りごとをお聞きしてサポートするための相談窓口です。  
『子育て、教育、お金、仕事、離婚、支援制度』などの悩みを一緒に考えます。  
よかったら私たちに聞かせてください。

**悩みが整理できていなくても、どんな悩みでも安心してお話しください。**

- ① 相談は何回でも無料です  
相談料はかかりません。
- ② メール・電話・オンライン・対面相談を選べます  
メールは24時間受け付け。ご都合の良い方法で相談ができます。
- ③ 必要な情報をメールマガジンでお届けします  
食料支援や支援制度などの情報を定期的にお送りします。

POLLUXの情報サイト・メールマガジンのご登録はこちらから。

詳しくは裏面へ！

**相談無料**  
24時間受付

## ひとり親等のご家庭からのお礼の声

このように、苦しい胸の内を打ち明けられる事有り難く、また心強い気持ちになります。本当に有り難いです。

今日はお忙しい中、一緒に役所に行っていただき大変にありがとうございました。無事帰宅しました。今日、一歩大きく進み、本当に胸が熱く帰宅しました。真摯に向き合っていただき、本当に感謝です。ありがとうございます。

他県から引っ越してきました。仙台にこのようなひとり親が相談できる場所があると知って、本当に心強いです。



# OUR SUPPORT 見守り・相談支援事業 ”見守り・支える”



2023年度のひとり親家庭等の相談件数は、7,367件となりました。メールでの相談のほか、対面・電話・訪問・同行での相談支援を行いました。また、見守り支援では、72世帯を542回訪問しながら見守りを実施しました。アウトリーチでつながったご家庭に緊急食糧支援を3,167世帯へ、家から出ることができない子どもに本を202冊貸し出しをする事ができました。

## ひとり親等相談支援事業

相談件数  
**7,367件**

連携・同行数  
**138回**



## 緊急食糧支援プロジェクト

食料支援数  
**3,167世帯**



## 見守り支援事業

相談件数  
**78件**

訪問回数  
**542回**



## 移動図書館プロジェクト

貸出回数  
**202冊**





物価高も相まって、「明日食べるものがありません、、」という相談も多数寄せられました。STORIAを支えてくださっているご支援者の方や助成金にて、3,167世帯へ食料支援を行いました。また、事情により、家から出ることができない子どもたちに本を貸し出しをし、お家においても世界を広げてもらえるような活動も行いました。

### 緊急食糧支援プロジェクト



食品届きました。開けたらケーキセットやお餅セットもあり、年越しそばもあり、本当に感謝です。涙が出ました。子どもにケーキ食べさせてあげられます。本当にありがとうございます。

ずっと一人で頑張っている感じがしていましたが、わくわくセットを見て、沢山の方のご支援があって届けられてると思うと、今年の年末年始は、温かな気持ちで過ごせる力になりました。

### 移動図書館プロジェクト

初めて訪問した日、寂しげな面持ちの父親にまとわりついているHくん。話しかけても照れ笑いはするものの、言葉を返してもらうことはできませんでした。それでもゆっくりと言葉をかけているとHくんからたった一言だけ言葉を聞くことができました。「ミニカー」。「Hくん、ミニカー好きなの？」持って行った本を開き言葉をかけると途端にキラキラとした目で見入るHくんの生き生きとした表情がありました。急に家の奥に走っていったかと思うと小さなミニカーを手を持って見せに来てくれました。「これはね、プジョーだよ」そう言って車の話をぽつりぽつりと始めてくれました。一冊の本をきっかけにHくんの心に寄り添う余白をもらえたようなそんな温かな出来事でした。



家庭や学校で困難を抱える小学生の子どもに、安心して過ごせる居場所を用意し、子どもたちが信頼できる大人から「たくさんの愛情」が注がれ、「多様で最高の機会」によって、一人ひとりの自己肯定感や非認知能力などの「自分らしく生きる力」を育むための活動を行っています。

STORIAでは、来所型のサードプレイス、訪問型のサードプレイス2タイプの居場所を開設しています。

小学生のサードプレイス事業

登録数  
来所 **25名**

参加延べ数  
来所 **892名**

登録数  
訪問 **7名**

参加延べ数  
訪問 **195名**



## 地域で見守り支える居場所



## 仙台市内拠点



### 保護者の悩みや課題を連携機関と一緒に解決する支援

子育て支援



就労支援



同行支援  
ソーシャルワーク



食糧支援



### 子どもたちの土台となる自己肯定感と生きる力を育む支援

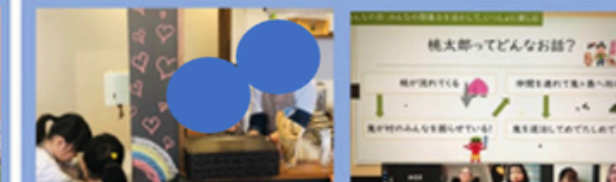
まなびサポート



食育サポート



非認知能力向上サポート



STORIAではEQと呼ばれる「非認知能力（心の知性）」を育むことを大切にしています。

「非認知能力」とは、「内面的な能力」、例えば肉体的・精神的健康、根気強さ、意欲、自己肯定感、自己効力感、創造力、長期的計画を実行する能力、他人との協働に必要な共感力・感情的制御を指します。

この非認知能力は、子どもの将来の職業選択や収入、幸福感に大きな影響を及ぼすと世界的な研修結果から分かっています。本来、家庭で育まれる非認知能力をSTORIAでは、親御さんの代わりとして居場所にて育てています。

## 来所型サードプレイス事業



まなび

子ども達は、居場所で見つけてしまったGさんの生態をiPadで調べ、退治の方法や増えないための対策を子ども自ら行いました。日常に起こったことからまなびを得ています。

子どもたちが調理や後片付けなどができるよう、毎回子どもたちと食事の準備をしています。季節の料理や食への関心などが増え、食事の時間が団欒のひとつときになっています。

食育



体験



「学校のような大きなプリンを食べてみたい!」という子どもの声から巨大プリン作りが始まりました。自分たちで作った巨大プリンの達成感を味わいながらプリンをお腹いっぱい食べることができました。

子どもたちは、自分の気持ちを表現せず我慢している傾向があります。子どもたちが素直に自分の考えを表現できる機会と環境を作っています。

2023年度から行っている訪問型のサードプレイスでは、ご家庭や子どもたちが抱えている課題が大きく、かつ深い傾向にあります。そのご家庭や子どものペースを大切にさせてもらいながら、関係構築からはじめています。

## 訪問型サードプレイス事業

子どもたちの興味関心を観察し、外に出る【体験学習】を目標に支援を行いました。

### 体験



Aちゃんにお出かけしたいところを聞いたところ、「近くの公園！」と話してくれました。実は他に出掛けた経験がないので公園しか知りませんでした。Aちゃんの希望で手作りのお弁当を持って、久しぶりに公園に遊びに行きました。

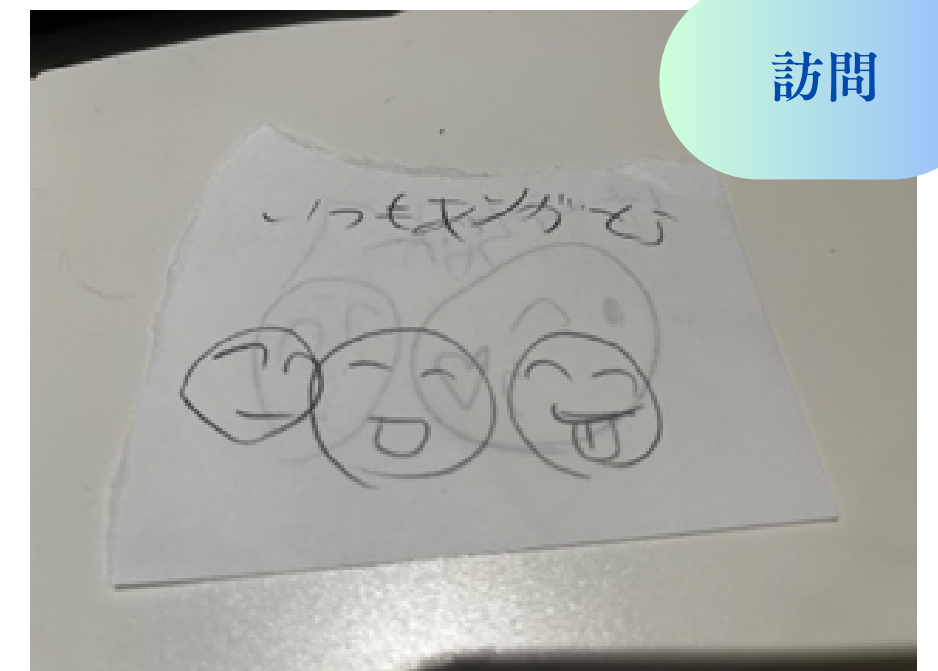
Kさんは、「自分の興味のあることはなんだろう」とスタッフと一緒に対話を重ね、自分の好きなことや苦手なこと、興味のあること、ワクワクすることを理解することから始めました。今回の体験学習では、広場で”虫捕り”をすることにしました。



学校にも行けず、感情をあまり見せず、また、自分の感情を隠そうとする関わりが多く見られたHくん。先日、Hくんの自宅を後にしようと、靴を履こうとした際、靴の中に「いつもありがとう。だいすき」と書いてくれた手紙が入っていました。

楽しくお出掛けした後、「お母さんにプレゼントをしたい」と話してくれたSくん。お母さんを案じる気持ちに感動しました。

### 訪問



STORIAではEQと呼ばれる「非認知能力（心の知性）」の変化も見ています。効果測定を見ると、全項目の非認知能力が上がっていました。変化の差が最も見られたのは③「相手が何故そのような気持ちであるか理解することができる」と⑨「相手を助けたり、相手のために何かしようとする」でした。この結果の理由としては、日常的にご飯を一緒に食べたり、遊んだりする中で起こる人間関係の葛藤をスタッフとや相手と対話にて解決するという経験を学んだり、ここで関わっている大人や友達から支えられていることを実感し、自分も誰かの支えになりたいという気持ちが高まり、この結果につながったのではないかと考えています。

## 来所型サードプレイス事業

### ■対象者・効果測定者

- 対象者：サードプレイスの拠点型に参加している小学校1～6年生の16名
- 効果測定者：支援者4名の観察調査
- 測定期間：2024年6月～2024年9月

### <非認知能力測定項目>

#### ▼自分をみる力

- ①思ったこと、いつもやってることを立ち止まれる
- ②状況に合わせて行動する

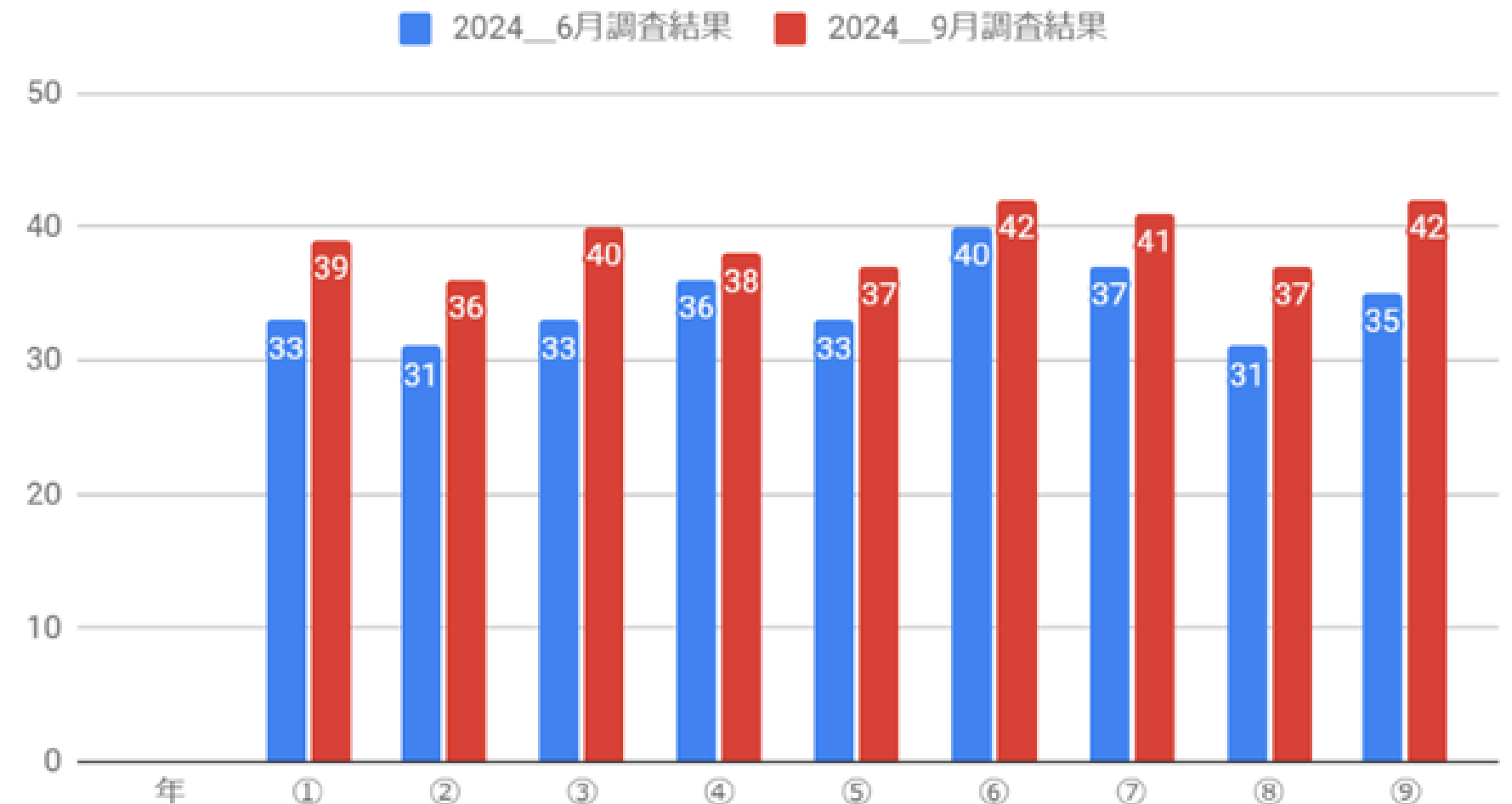
#### ▼相手をみる力

- ③相手が何故そのような気持ちであるか理解することができる
- ④思っていることとは違う行動をしてしまうことあると理解している
- ⑤相手が何故そのような行動をしたか考えることができる

#### ▼人と関わる力

- ⑥体験したことを振り返ることができる
- ⑦人と対立しても乗り越えようとする
- ⑧言葉を使って気持ちを表現・理解できる
- ⑨相手を助けたり、相手のために何かしようとする

## 2024年度非認知比較



2023年度から「中高生のサードプレイス」を新設しました。小学生のサードプレイスを卒業した子、また、親に頼ることができない環境にある若者が安心して過ごせる居場所です。頼れる人とのつながりを得ることで、自分らしい人生を歩めることを目的に開設しました。初年度は、約10名の若者が集っています。

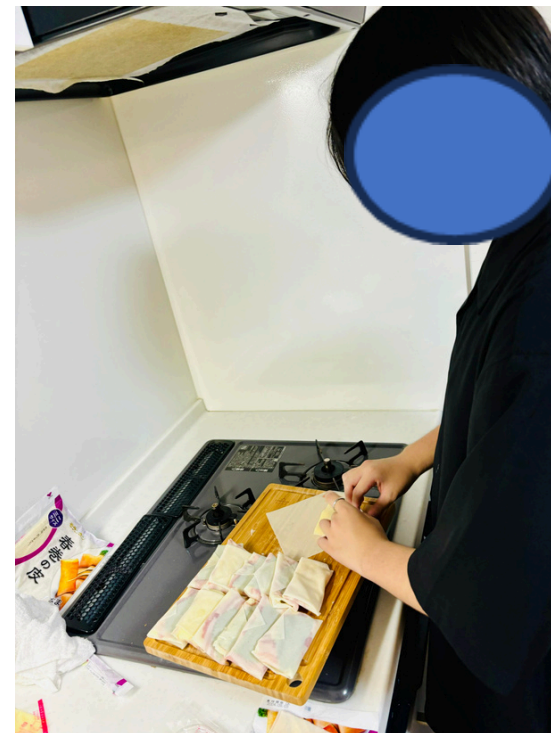
中高生のサードプレイス事業

登録数  
**9名**

参加延べ数  
**72名**

開催回数  
**9回**

食事をつくったり、後片付けをしたりと自然に役割分担ができています。この場の運営も参加者全員で考え行っています。



食事の時間は自然とみんなの顔が笑顔になります。秋には体験学習として、ここで出会った若者全員で旅行に行きました。日々の食事も儼ならない若者にとって、とても貴重な経験となりました。



調理が得意なFくん。みんなの好き嫌いなものを聞き、やりくりしながら料理を毎回つくってくれています。



ひとり親や子育て世帯への就労支援の一環として、仙台市様、大和リース株式会社様、株式会社ママスクエア様と協働し、”ママの働くを応援するイベント”を開催しました。また、STORIAでは、就労に向けたケア付き準備講座、”MY STORY”を実施をしました。企業と連携を行いながらひとり親家庭を採用したい企業を増やしています。

就労支援事業

協働イベント

My STORY

参加者数  
**44名**



「自分らしさ」を改めて考える機会となりました。

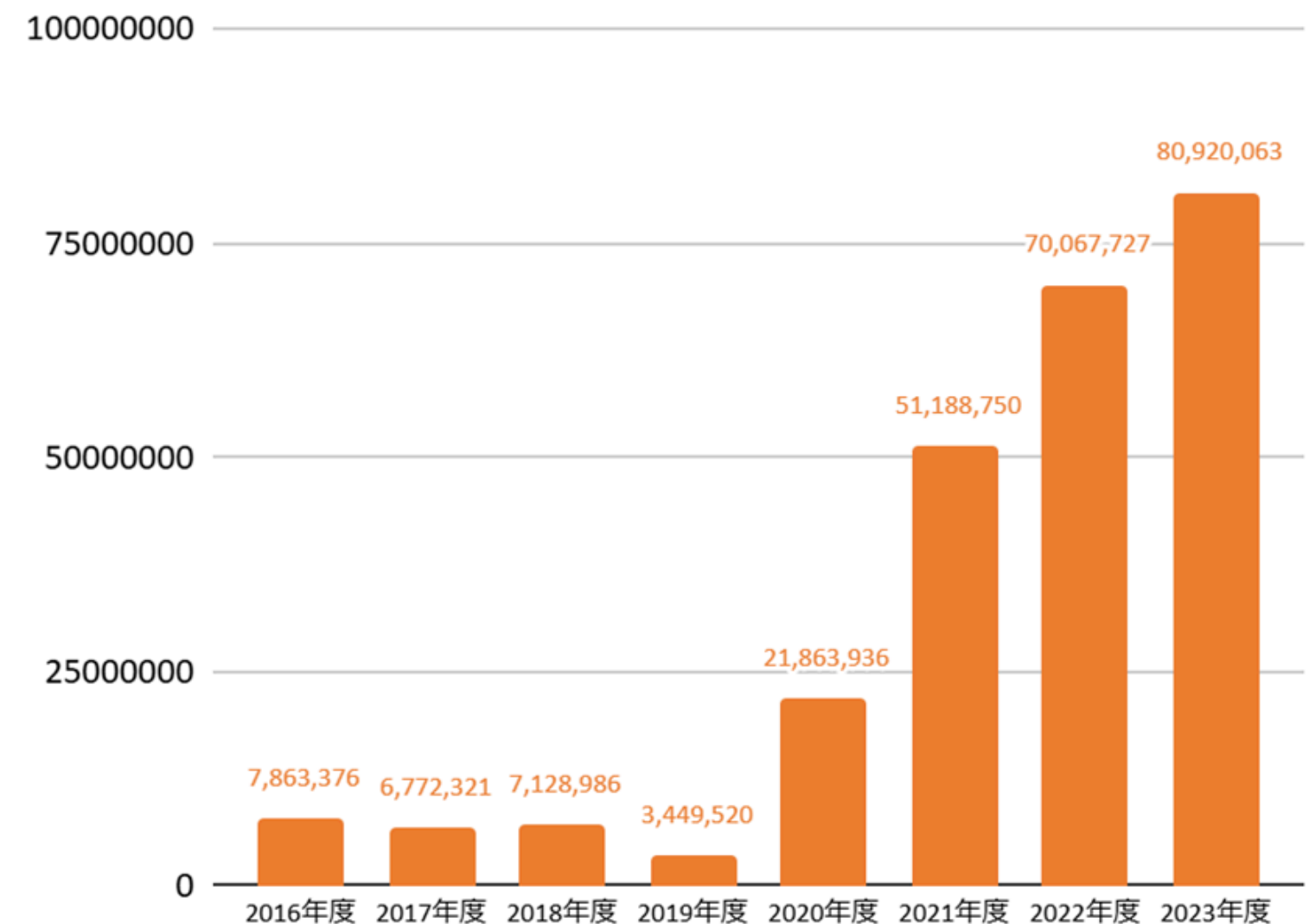
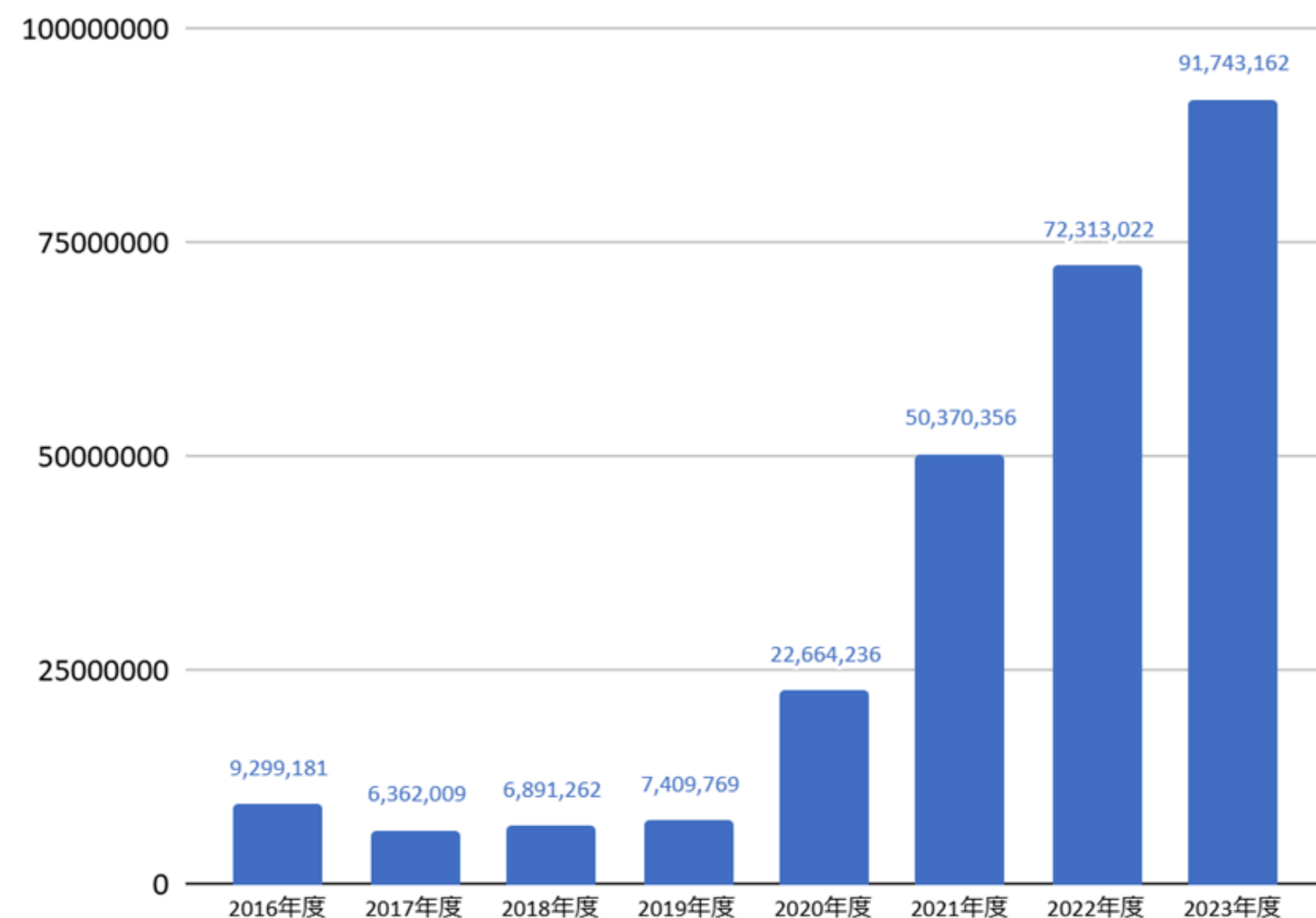
ネガティブ指向が少しポジティブになった気がします。同じ境遇の仲間と学べたことも心強く感じました。



# 2023年度活動の収支報告 2023年4月～2024年3月末

## 経常収益と経常費用

2023年度はの経常収益は9,174万円となり、前年度比126.8%と増加しました。その理由としては、サードプレイスが仙台市の施策化となり委託事業が増えたこと、虐待予防と高校生世代の居場所事業を新たに行うために助成金を獲得した影響によります。経常費用については、経常収益の範囲内で収まりました。



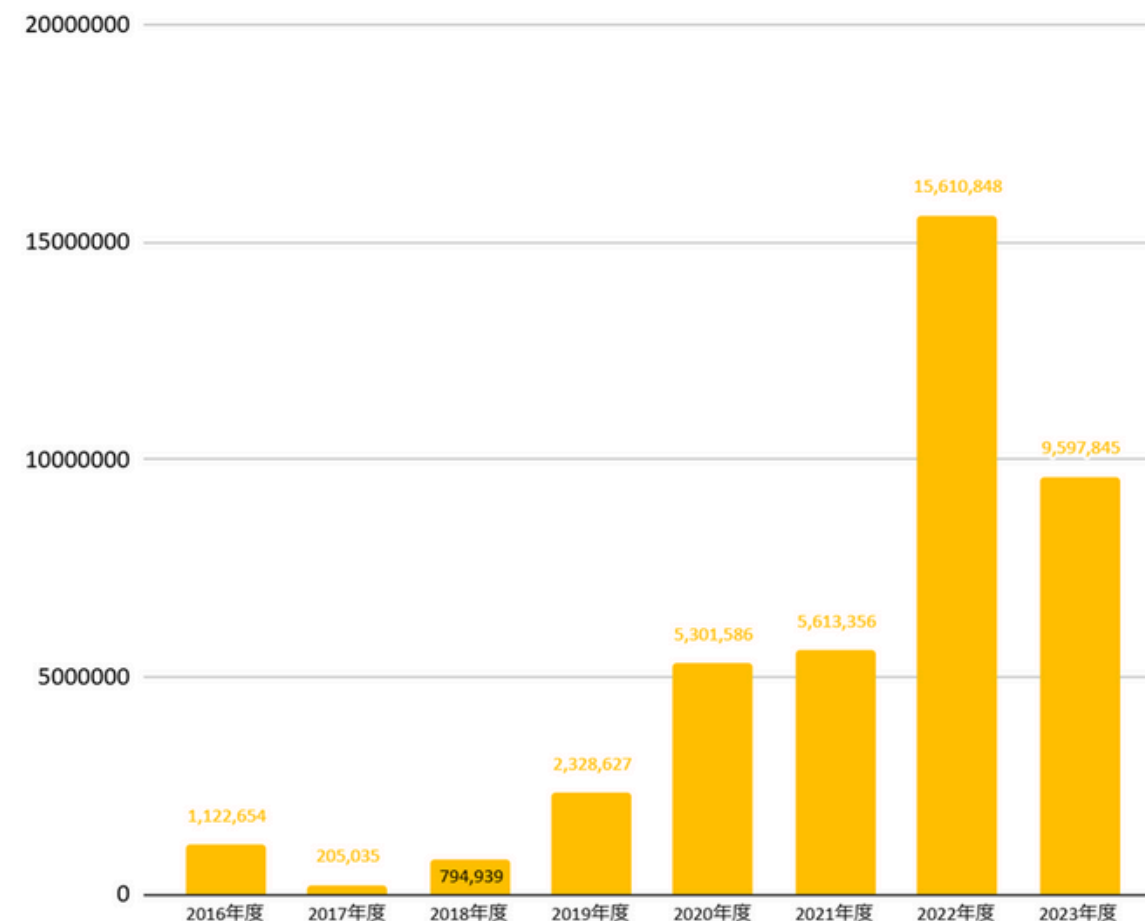


# 2023年度活動の収支報告

2023年4月～2024年3月末

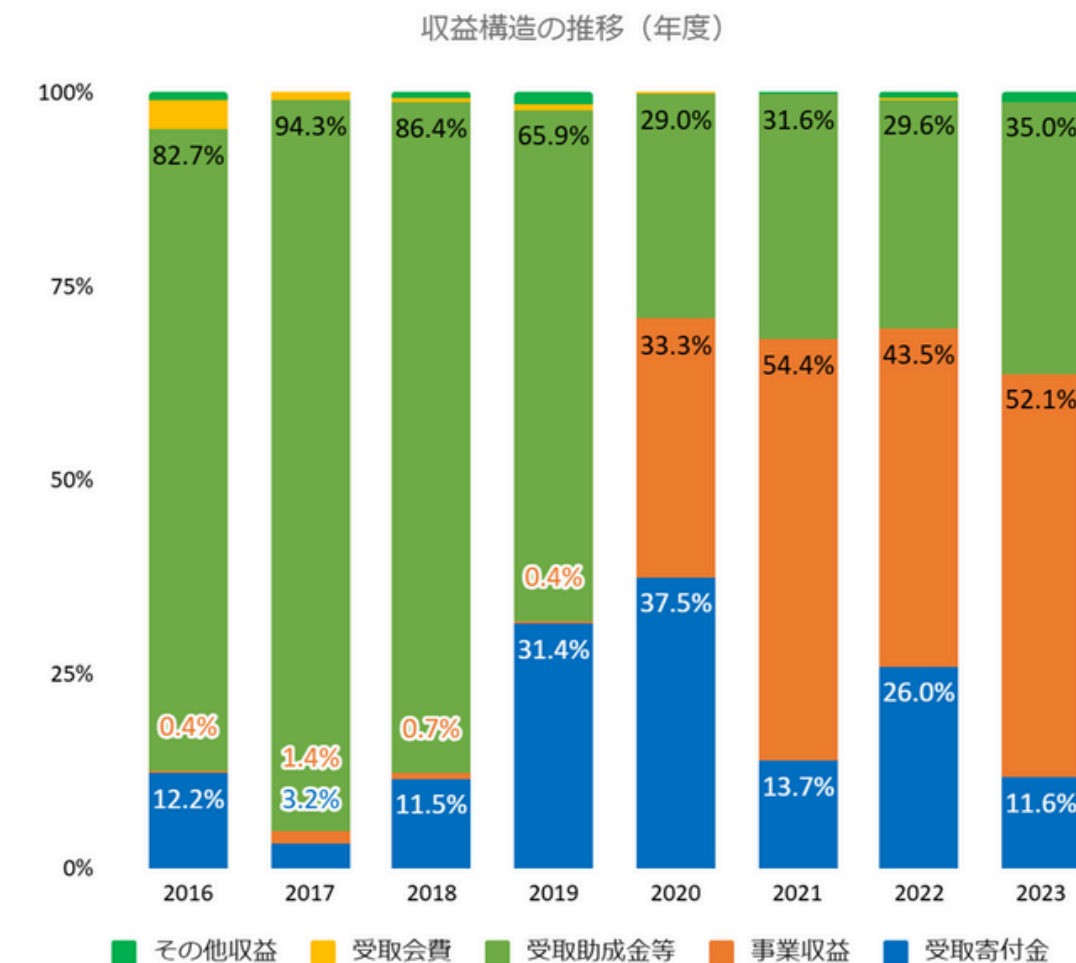
## ご寄付の推移

2023年度の寄付金は、前年度比-38.52%と減となりました。その理由は、昨年度はプロボノさんたちのクラウドファンディングにより約600万円の収入があったためです。次年度は、STORIAの仲間づくりを大切にして活動を行って参ります。



## 収益構造

2023年度の収益構造は、前年度から寄付金割合が減り、助成金と事業収益の割合が増えました。新たな事業を生み出すために助成金比率は今後も変えず、寄付収益と事業収益の割合のバランスを保つ経営を目指していきます。



# STORIAを支えてくださる方々

## STORIAの仲間

STORIAでは、スタッフの他、無償でお力を貸して下さるボード、アドバイザー、プロボノ、ボランティア、そしてご寄付で支えてくださっているサポーターがいらっしゃいます。皆で志を一つにし、力を合わせて活動を行っています。



## スタッフ



## ボード・アドバイザー



# ご支援いただいたご寄付について

認定NPO法人STORIAは、仙台市より公益の増進に資する団体として、2022年に認定NPOとして認められました。支援者の皆様に心より感謝申し上げます。

## <税制上の優遇措置（寄付金控除）について>

認定NPO法人へのご寄付は寄付金控除の対象になります。

- ・個人の方の場合：寄付金から2,000円を引いた額の最大50%が戻ってきます。  
\*確定申告を行うことで寄付金控除が受けられます。年末調整では申告できません。

### 【例】

年間10,000円の寄付をした場合→最大4,000円が戻ってきます。

- ・ $(10,000 - 2,000) \times 40\%$ （国税分）=3,200円
  - ・ $(10,000 - 2,000) \times 10\%$ （地方税分 最大10%）=800円
- 3,200円+800円=4,000円

年間36,000円の寄付をした場合→最大17,000円が戻ってきます。

- ・ $(36,000 - 2,000) \times 40\%$ （国税分）=13,600円
  - ・ $(36,000 - 2,000) \times 10\%$ （地方税分 最大10%）=3,400円
- 13,600円+3,400円=17,000円

※地方税の控除割合は各自治体によって異なります。  
※控除額には一定の上限額があります。また、所得によっては所得控除方式が有利となる場合があります。詳しくは最寄りの税務署にお問い合わせください。

## 【寄付金控除を受けるまでの流れ】

<12~1月>

源泉徴収票・領収書をそろえる。（STORIAから領収書を発行いたします）

↓

<2~3月>

確定申告書を作成して、税務署に提出する。

↓

<4月頃>

控除額が決定。還付金が振り込まれる。

・法人の方の場合：一般寄付金の損金算入限度額とは別に、特別損金算入限度額の範囲内で、損金として算入することができます。

\*詳しくは最寄りの税務署にお問い合わせください。



ありのままがいい  
きみの物語は  
きみのもの

Be yourself.  
Your story belongs to you.

# CONTACT

---



<https://www.storia.or.jp/>



<https://www.storia.or.jp/contact/>



<https://www.facebook.com/storia.japan>